

作成日 2022年 7月 4日

(最終更新日 2025年 9月 30日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-665

課題名 : DPC データベースを用いた急性 A 型大動脈解離を発症した高齢患者の早期成績と退院時 ADL

1. 研究の対象

本邦において、2012年4月から2018年3月までにDPC(診断群分類別包括評価)データに登録された60歳以上で急性A型大動脈解離を発症し、緊急入院し、外科的治療を受けた方が対象となります。

2. 研究期間

2022年7月(倫理委員会承認後) ~ 2027年12月

3. 研究目的

本研究では、DPC データを活用し、急性 A 型大動脈解離発症高齢患者の治療実態(外科的治療)を総括的に明らかにすることを目的とします。

4. 研究方法

下記に記載されている情報を活用させていただき、手術を受けた高齢患者の早期成績におよぼすリスク因子の検討や手術を受け、生存退院となった高齢患者の退院時 ADL におよぼす因子の検討も行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に使用する DPC データは既に匿名化された形で受け取る情報であるため、個人の特定は不可能です。本研究では以下の情報を用います。

情報 : 年齢、性別、身長、体重、BMI、転帰、退院先情報(自宅、転院、介護関連施設)、入院期間(集中治療室滞在日数、在院日数)、術式や手術時間、喫煙歴、入院時覚醒状態、入院時併存疾患の詳細(高血圧、脂質代謝異常症、糖尿病、腎機能障害、維持透析、脳血管疾患既往、慢性閉塞性肺疾患、マルファン症候群)、退院時 ADL 項目(食事、移乗、整容、更衣、排尿・排泄管理、トイレ動作、入浴、平地歩行、階段)の情報など

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。本研究は、日本循環器学会メディカルスタッフ研究助成金を使用します。本研究における企業等との利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、東北大学利益相反マネジメント委員会の承認を得たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係についての公正性を保ちます。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究に関する連絡先：

東北大学大学院医学系研究科がん看護学分野
佐々木康之輔
仙台市青葉区星陵町1-1
TEL：022-717-7928

研究責任者：

東北大学大学院医学系研究科心臓血管外科学分野
齋木佳克